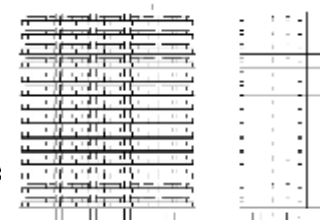


CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グランドパレス河内長野駅前	階数	地上15F地下1F
建設地	大阪府河内長野市本町125-1他	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	190 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2019年1月22日
敷地面積	1,961 m ²	作成者	(株)アモルファス建築設計事務所 平野 公
建築面積	510 m ²	確認日	2019年1月24日
延床面積	6,996 m ²	確認者	(株)アモルファス建築設計事務所 平野 公



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超☆☆</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.4</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.3</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>建物利用者の快適な生活環境を維持するため遮音性を高め、安全性の面からはF☆☆☆の内装材の使用、また敷地内にはできる限りの緑地を設けている</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>開口部にはT2のサッシやF☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に使用</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>情報社会に対応し、ゆとりある生活を確保できるよう大容量ブロードバンド設置 耐用年数の高い建材の利用</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>できる限りの緑地を設け、多種多様な中高木を設置</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明採用</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型機器や再生材を採用</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率=78%</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)グランドパレス河内長野駅前新築工事					
	建設地	大阪府河内長野市本町125-1他					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					3	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	対象外
--	-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.8	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		